

4 年前期 国語 評価の内容

知識・技能	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句を話や文章の中で使えること。 ・文章の構成や内容を意識して音読できること。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づき、幅広く読書に親しめること。 ・第4学年までに配当されている漢字の読み書きができること。 ・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解できること。 ・漢字辞書の使い方を理解し活用できること。 ・言葉には、性質や役割による語句のまとまりや考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解できること。 ・相手を見て話したり聞いたりできること。 ・段落や接続する語句の役割について理解できること。 ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解できること。 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに気を付けて書けること。 ・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりして、言葉の響きやリズムに親しめること。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解できること。 ・左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いていること。
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えがもてること。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、叙述を基に、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像できること。 ・「読むこと」において、考えとそれを支える理由や事例について、叙述を基に捉えられること。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できること。 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にして書けること。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考えられること。 ・書写するなかで、左右の部分の組み立て方を確かめていること。 ・書写するなかで、上下・左右の部分の組み立て方を確かめていること。
主体的に学習に取り組む態度	・これまでの学習を生かして、すすんで話したり聞いたりし、相手の伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えようとしていること。 ・すすんで詩や物語全体の構成や内容を意識し、学習課題に沿って音読しようとしていること。 ・登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に考えたことを話し合おうとしていること。 ・漢字の構成されていることについて理解し、これまでの学習を生かして漢字の組み立てについて考えようとしていること。 ・積極的に漢字辞典の使い方を理解し、学習課題に沿って漢字辞典を使おうとすること。 ・積極的に必要なことを工夫して記録したり質問したりして、それらをもとに発表すること。 ・漢字の読みや書きに粘り強く取り組むこと。 ・すすんで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、物語の感想を書こうとすること。 ・すすんで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考えて新聞を作ろうとすること。 ・積極的に上下・左右の部分の組み立て方を理解し、上下・左右の部分でできている漢字を書こうとしていること。

知識・技能	・国内における東京都の位置、隣接する県との位置関係、都全体の地形や主な産業、交通網の様子について理解できること。 ・各都道府県の名称や日本地図上の位置などを理解できること。 ・東京都の様子について、地図帳や各種資料などを調べ、特徴をまとめられること。 ・飲料水の供給にかかわる人々の工夫や努力を知り、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できること。 ・ごみ処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などを基に、ごみの処理やその再利用に関わる人々の工夫や努力を知り、生活環境の維持と向上を支えていることを理解できること。 ・地域の人々にとって必要な飲料水の供給やごみ処理の仕組みについて、視聴覚教材や読み物資料、地図などを活用して必要な情報を読み取ったり図表にまとめたりできること。 ・地域の関係機関や人々はこれまでの自然災害に対し協力して対処してきたことや今後想定されている自然災害に対して、訓練や物資の備蓄など様々な備えをしていることを理解できること。
思考・判断・表現	・東京都の地形と土地利用や産業との関わりを考え、白地図に表すことができること。 ・日本全体における東京都の位置、都全体の地形の様子、産業の分布や交通網の広がりなどを総合して東京都の地形的環境の特色を考え、表現できること。 ・飲料水の使用や過去の渇水の様子から問いを見いだし、それらの事業の仕組みや人々の協力関係と地域の人々の健康や生活環境を関連付けて考え、その役割を言語や図などに適切に表現できること。 ・学んだことを基にして節水など自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできること。 ・ごみ処理の仕組みや再利用の様子から問いを見いだし、ごみ処理や再利用の事業に見られる仕組みや人々の協力関係と地域の人々の生活環境の維持・工場を関連付けて考え、その事業が果たす役割を文章や関係図に表すことができること。 ・学習したことを基に、地域の人々の健康や生活環境を守るための法や決まりの大切さを考え、地域社会の一員として自分たちができることを考えたり、選択・判断したりできること。 ・学習したことを基に、自分の住む地域で今後起こる可能性のある災害を想定し、自分たちでできることを選択・判断したりできること。
主体的に学習に取り組む態度	・東京都の様子について関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしていること。 ・飲料水を供給する事業の仕組みに関心をもち、どのように安全で安定的に供給できるように改善されたのか、予想を基に学習計画を立て、問題解決の見通しをもって、主体的に学習問題を追究・解決しようとしていること。 ・地域の人々にとって必要な飲料水を確保するために、水を大切な資源としてとらえ、節水などに向けて地域の一員として自分たちができることを考えようとしていること。 ・日常生活から出る大量のごみと、その処理や再利用について関心をもち、問題解決の見通しをもって、主体的に問題を追究・解決しようとしていること。 ・地域の人々の健康や生活環境を守るための法やきまりの大切さに気付き、地域社会の一員として、ごみの減量や資源の再利用に協力しようとしていること。 ・自然災害から人々を守る活動について、学習したことを基によりよい社会を考え、自助や共助について自分たちにもできることを考えようとしていること。

4 年前期 算数 評価の内容

知識・技能	・億や兆の単位を知り、読んだり書いたりすること。10 倍や $1/10$ にした数を求め、3 けたの整数のかけ算ができること。 ・折れ線グラフの特徴や用い方を理解し、かいたり、読んだりできること。二次元表の分類や整理のしかたを知り、表に表したり読み取ったりできること。 ・かけ算九九を使って 2～3 けたの数÷1 けたの数のわり算ができること。 ・角の大きさを分度器で測定したり、必要な大きさの角を作ったりすることができること。 ・$1/100$ の位、$1/1000$ の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、小数のたし算やひき算ができること。 ・2～3 けたの整数を 2 けたの整数でわるわり算の計算ができること。
思考・判断・表現	・億や兆の単位を用いた数の表し方や大きさの比べ方を数のしくみを基に説明すること。 ・目的に合ったグラフを選択したり情報を読み取ったりして、分かったことや考えたことを説明すること。 ・2～3 けたの数÷1 けた数のわり算の仕方を考え、説明すること。 ・三角定規の角の大きさなどを基に、図形の角の大きさの求め方を説明すること。 ・小数のたし算やひき算の計算の仕方、数の大きさの比べ方について考え、説明すること。 ・2～3 けたの数を 2 けたの数でわるわり算の計算の仕方を説明すること。
主体的に学習に取り組む態度	・億や兆のしくみや表し方の学習を振り返り、10 になると別の位で表すことや 4 けたごとに新しい単位で表すよさを、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・二次元表によって簡潔に捉えられるよさを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・わり算のしかたを考えたことを振り返り、自分に合った暗算での計算を今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・180° より大きい角の測定の仕方を考えたことを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・小数は整数と仕組みが同じであり、式に表すとどんな見方をしたのかが分かるというよさに気づき、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしていること。 ・2～3 けた÷数 2 けたの数のわり算の計算に粘り強く考え、既習のわり算を基に計算できるよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。

4 年前期 理科 評価の内容

知識・技能	・動物の活動や植物の成長は、季節などによって違いがあることを理解できること。 ・人の体には骨と筋肉があり、動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解できること。 ・天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解できること。 ・乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解できること。 ・水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解できること。 ・水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解できること。 ・月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解できること。 ・空には、明るさや色の違う星があることを理解できること。 ・星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解できること。 ・単元の内容について調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録できること。
思考・判断・表現	・単元を通して、これまでに学習したことや生活経験を基に、予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決すること。 ・身近な動物や植物・人や他の動物の体のつくりと運動・天気の様子と気温との関係・月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決すること。 ・電流の働き・雨水の行方と地面の様子について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決すること。
主体的に学習に取り組む態度	・身近な動物や植物についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・動物の体のつくりと運動についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・天気の様子と気温との関係についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・電流の働きについての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。 ・雨水の行方と地面の様子についてすすんで関わり、粘り強く自分の考えを導き、友達と関わり合いながら問題解決をすること。 ・月や星についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしていること。

4 年前期 音楽 評価の内容

知識・技能	・『さくら さくら』や『ありがとうの花』などの楽曲において、曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気付き、理解すること。 ・『サウンド・オブ・ミュージック』などの鑑賞曲の雰囲気を感じ取りながら、旋律との関わりについて理解すること。 ・『ラバーズ コンチェルト』や『メヌエット』などの曲想と、拍やその流れなど音楽の構造との関わりについて気付き、理解すること。 ・リコーダーなどの楽器演奏において、音色や響きに気を付けながら指使いやサミングの技能をしっかりと身に付け、演奏できること。 ・リコーダーなどの楽器を用いて、お互いの楽器の音や伴奏をよく聴き合いながら、呼吸を合わせ音をそろえて演奏できること。 ・歌唱や器楽の学習活動において、発声を活かした表現や、自分の思いや意図に合った表現をするために必要な基本的な技能を身に付けること。
思考・判断・表現	・『サウンド・オブ・ミュージック』などの歌声や旋律を注意深く聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、旋律や歌声のよさや楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 ・『ラバーズ コンチェルト』や『メヌエット』の拍やその流れ、強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見い出して工夫して聴くこと。 ・歌唱や器楽の活動において、これまでに得た知識や技能を工夫して生かしたり試行錯誤したりしながら、曲の特徴を捉えた表現を考え、どのように演奏するかについて自分なりの思いや意図をもつこと。
主体的に学習に取り組む態度	・いろいろな歌声や様々な拍子の音楽、リコーダーなどの楽器による表現に興味・関心をもち、友達と一緒に音楽活動を楽しみながら、主体的に・協働的に学習活動に取り組もうとすること。 ・すすんで音楽に関わり、友達と互いの音を聴き合いながら共に学び、音楽活動をする楽しさを実感して粘り強く取り組もうとすること。

4 年前期 図工 評価の内容

知識・技能	・表したいことに合わせて材料（画用紙、粘土、木材、ビニール素材、段ボールなど）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、カッター、木工用接着剤など）を適切に扱うことができること。 ・前学年までの材料や用具についての経験をいかし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくることができること。 ・絵や立体に表す活動を通して、形や色、組み合わせの印象を捉えることができること。 ・造形遊びの活動を通して、材料に関わりながら、材料を組み合わせたり切ってつないだり、形をかえたりするなどして、工夫してつくることができること。
思考・判断・表現	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことなどの自分のイメージを基に、表したいことを見付けること。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えること。 ・造形遊びの活動を通して、場所や場所にある材料を基に表したいことを思い付くとともに、いろいろと試みの中で次々と形や色などを変化させるなど、発想が連続していくこと。 ・自分たちの作品や、身近な美術作品などの面白さやいろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に表現したり、鑑賞したりする活動に取り組むこと。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで材料や道具の使い方を試しながら、水彩絵の具を使って絵の具あそびをする学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで彫塑粘土でできる形を試しながら思い付いたイメージを立体で表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんでふしぎな種から生まれる植物についてイメージを広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで場所と関わりながら新聞紙で図工室の空間を変化させる学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで光を透かす材料の組み合わせ方を試しながら、思い付いたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしていること。

4 年前期 体育 評価の内容

知識・技能	・かけっこ・リレーでは、いろいろな走り出しの姿勢から素早く走り始め、真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って、全力で走ることができること。 ・マット運動では、前転、開脚前転、後転、開脚後転、側方倒立回転などの技の行い方を知るとともに、自分の力に合った技ができること。 ・上がり技や支持回転技、下り技の中から自分ができそうな技やできない技に取り組み、できるようにしたり、できるようになった技を繰り返したり、組み合わせることができること。 ・キャッチバレーボールでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすること。 ・水泳運動では、け伸びや初歩的な泳ぎができ、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな潜り方や浮き方ができること。 ・幅跳びでは、短い助走から踏切り足を決めて前方に強く踏切り、遠くへ跳ぶことができること。
思考・判断・表現	・体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動では、基本的な動きを高めるために、友達の運動の行い方と自己の行い方とを比べるなどして、課題を見付けて運動に取り組むこと。 ・かけっこ・リレーでは、走り出し、腕振りなどのポイントから自己の力に合った課題を選び、動きを身に付けるための運動に取り組むこと。 ・マット運動では、手を着く位置や着地する位置に目印を付けるなどして、技の出来栄を確認して自己に適した課題を見付けること。 ・キャッチバレーボールでは、規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。 ・水泳運動では、自分の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ・幅跳びでは、動きのポイントについて踏み切り位置に目印を置くなどし、友達と見合い、考えたことを伝えること。
主体的に学習に取り組む態度	・体づくりの運動では、体を動かす楽しさや心地よさを分かって、すすんで取り組み、味わおうとすること。 ・キャッチバレーボールでは、みんなと協力して活動の場の準備や後片づけをしたり、場の安全や活動の安全を確かめたりして運動しようとする。 ・マット運動では、友達と教え合ったり、見合ったりして練習し、互いのめあての達成を喜び合おうとすること。 ・リレーでは、勝敗を受け入れて、チームでの話合いと練習を通して、次に生かそうとしていること。 ・水泳運動の心得を守って、安全に気を付けること。 ・幅跳びでは、決まりを守り、友達と励まし合いながら練習したり、競争したりしながら、すすんで取り組むこと。 ・それぞれの運動のよさに気付き、粘り強く取り組むこと。